

会計課 物流管理係

物流管理係は事務部会計課に属し、常勤2人、非常勤1人の計3人で業務を行っています。主な業務は、一言で申しますと「院内で使用する物品の調達」です。

ここでは、院内で使用する物品の管理方法をご紹介します。

院内で使用する物品とは、「医薬品」、「医療材料」、「ボールペン・ファイル等の文房具」、「消臭剤・ゴミ袋等の日用雑貨品」といった消耗品から、「MRI・CT等の医療機器」、「ベッド・パソコン・机等の器具備品」など多種多様です。その中で医療材料・日用雑貨品など各部署にて恒常的に使用される消耗品は約1200種類あり、欠品・製品間違い等により診療に支障が無いよう、また発注などの事務作業軽減のため、当院では「SPD」を導入しています。「SPD」とは、「院内物流代行」と訳され、専門業者が院内の物品管理業務を一元管理することで、当院では管理倉庫を院外に持つ「院外SPD」を導入しています。

「院外SPD」の運用は、下記のとおりです。



①各部署には、日々使用する医療材料等が定数配置されています。



②SPD物品には、バーコード付のカードが貼ってあり、使用する際はカードを剥がします。剥がされたカードは回収され、物流管理係で読み込みます。



③読み込まれたカードの物品は、翌日SPD倉庫からトラックで病院に届けられます。
④SPD配送担当者によって、各部署に補充されます。



左は、現在地下1階で行われているMRI装置更新工事の立会いをしている写真です。医療機器は購入だけでなく、設置まで管理します。今回3テスラのMRI装置へ更新し、6月中の本稼働を予定しております。新しいMRI装置による検査が可能になりましたら、改めて本誌にてお知らせいたします。

上記のような物品の調達にあたっては、その必要性や効率性等を考慮し、納入業者との価格交渉に日々取り組んでいます。

会計課 物流管理係
係長 佐々木 潤
係員 佐々木 陽